

保健体育

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	保体 701	A B 206	令和2年
4	大日本図書	大日本◆	保体 702	B 5 変形 196	
50	大修館書店	大修館◆	保体 703	A B 198	
224	学研教育みらい	学 研◆	保体 704	A B 206	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 保健体育(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	東書	大日本	大修館	学研
内容	<p>1 聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</p> <p>①視覚的な方法等を活用した学習活動が工夫できるもの。</p> <p>②聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。</p>	<p>☆☆☆☆ 15</p> <p>①「心身の機能の発達と心の健康」では、自分の欲求についてカードに書き、グループで話し合う活動がある。(P36)</p> <p>②該当なし</p>	<p>☆☆☆ 10</p> <p>①「健康な生活と病気の予防」では、喫煙や飲酒などに誘われたときの断り方を練習する活動がある。(P83)</p> <p>②該当なし</p>	<p>☆☆☆ 11</p> <p>①「感染症の予防と健康を守る社会の取り組み」では、マスクの網目と花粉や細菌、ウイルスの大きさを拡大して示した図により、マスクの役割を考える活動がある。(P138)</p> <p>②該当なし</p>	<p>☆☆☆☆ 17</p> <p>①「健康な生活と病気の予防①」では、1週間の生活をチェック表に記入し、振り返る活動がある。(P36)</p> <p>②「健康な生活と病気の予防③」では、ユニバーサルデザインの例」として、筆談用ボードや聴覚障害に関するマークを紹介している。(P165)</p>
	<p>2 聴覚障害への配慮を要する内容等について</p> <p>①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</p>	<p>★★ 3</p> <p>①「傷害の防止」では、AEDの実習があるが、音声メッセージに従いながら操作を行うため、取り扱う際に配慮が必要である。(P83)</p>	<p>★★ 3</p> <p>①「心身の発達と心の健康」では、リラクゼーションの方法の一つとして音楽を聴くことがあり、取り扱う際に配慮が必要である。(P51)</p>	<p>★★★★ 6</p> <p>①「けがの防止と応急手当」では、119番通報の練習をする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P109)</p>	<p>★ 1</p> <p>①「心身の発達と心の健康」では、電話でのコミュニケーションの特徴や注意点を考える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P67)</p>
構成上の工夫	<p>障害の状態に応じた事項、その他</p> <p>①聴覚の障害を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明しているもの。</p>	<p>①「健康と環境」では、熱中症の応急手当の流れをチャート図で示している。(P133)</p>	<p>①「傷害の防止」では、様々な自然災害の写真を見開きで大きく示している。(P100-101)</p>	<p>①「心身の発達と心の健康」では、ストレスへの対処の仕方を、イラストや具体的な例を挙げて説明している。(P50)</p>	<p>①「心身の発達と心の健康」では、心身をゴムボールに例えたイラストで、ストレスを視覚的に説明している。(P62)</p>
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり

中学部 保健体育(肢体不自由・病弱特別支援学校)

	発行者	東書	大日本	大修館	学研
内容	1 肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①健康な生活や病気の予防、けがの手当て等が取り上げられているもの。	☆☆☆☆ 13 ①「心身の機能の発達と心の健康」では、チェックリストを使って状況に応じたストレスへの対処の方法について考える活動がある。(P40)	☆☆☆☆ 11 ①「健康な生活と病気の予防」では、食事バランスガイドのイラストを参照しながら自分の一日の食事内容を振り返る活動がある。(P21)	☆☆☆☆ 10 ①「心身の発達と心の健康」では、体の緊張をほぐすために楽な姿勢で行う呼吸法の実習がある。(P52)	☆☆☆☆ 13 ①「健康な生活と病気の予防」では、ユニバーサルデザインについて調べたり、身近なユニバーサルデザインのアイデアを作ったりする活動がある。(P165)
	2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①運動制限や上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。	★★★★★ 6 ①「傷害の防止」では、傷口にタオルなどを当て、手で圧迫する止血法の実習があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P77)	★★★★★ 4 ①「傷害の防止」では、AEDを使って心肺蘇生を行う実習があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P109)	★★★★★ 6 ①「けがの防止と応急手当て」では、三角巾や固定具で患部を固定する実習があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P115)	★★★★★ 6 ①「心身の発達と心の健康」では、自分の脈拍を数える活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P47)
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②写真、図表等で視覚的に示されているもの	①各単元の冒頭に、学習課題を、大きな文字と色囲みで強調して示している。(P6など) ②「文化としてのスポーツの意義」では、年齢や障害の有無などの違いを超えて楽しむスポーツの例を、写真で紹介している。(P175)	①「各単元の冒頭に、学習につながる課題を色囲みで簡潔に示している。(P4など) ②「健康な生活と病気の予防」では、世界の各地で健康を支える活動を行う人々を、写真で紹介している。(P146)	①各章に見開きの扉ページがあり、学習事項をイラストや写真とともに示している。(P4-5など) ②「環境の健康の影響」では、学校や家の場所ごとの明るさの基準を、色分けして示している。(P161)	①各章末にまとめのページがあり、その章で学んだキーワードと掲載ページを枠囲みで記している。(P83など) ②「傷害の防止」では、熱中症を疑ったときの対応を、チャート図で説明している。(P127)
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり
	性差と家族についての扱い	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり

